



伊予里 市議会だより

第50号

平成26年(2014年)



6月補正額
12億8,884万8千円
補正後の予算
227億4,229万3千円
(前年比-1.4%)

★平成26年第3回定例会は9月1日(月)開会予定です。

平成26年伊万里市議会第2回定例会
会期日程

6月

6月9日～30日 22日間
開議時刻 午前10時

日	種別	内容
9(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 18件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明 決議案の上程 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決
11(水)	本会議	議案等に対する質疑
12(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会及び特別委員会付託
16(月)	休会	特別委員会(総合計画審査)
17(火)	休会	特別委員会(総合計画審査)
18(水)	休会	特別委員会(総合計画審査)
19(木)	本会議	一般市政に対する質問
20(金)	本会議	一般市政に対する質問
23(月)	本会議	一般市政に対する質問
24(火)	休会	常任委員会
25(水)	休会	常任委員会
26(木)	休会	正副委員長会
30(月)	本会議	議案等の上程 議案等の提案理由説明 議案等に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会報告 特別委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙 閉会

議会ホットコーナー

全国市議会議長会
永年勤続表彰



勤続20年

福田喜一 議員



勤続20年

田中啓三 議員



勤続15年

高木久彦 議員



暑中お見舞い申し上げます

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。

議員一同

定例会会期日程など



○伊万里市農業委員会委員

(議会推薦)

米岡 省子さん(二里町)
山口 満子さん(東山代町)

次の人事案件を
同意・承認しました

○副市長の選任への同意

江頭興宣氏を副市長に再任する議案について同意しました。同氏は昭和50年伊万里市役所入庁。平成19年教育部長、平成21年総務部長を歴任された後、平成22年退職、その後伊万里市副市長として市長の補佐を勤められてきました。

総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、出納室、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました条例議案1件、予算議案1件、一般議案1件について審査した結果、原案の通り可決すべきものと決定しました。

税条例の一部を改正

地方税法の改正に伴い、法人市民税法人税割の税率の引き下げ、軽自動車税の税率の引き上げなど改正するものです。軽自動車については、標準税率の税負担の変化が27、28年度分から細かくなり、わかりやすい説明と、周知を求めたところ です。

行政視察報告(5月13日～16日)

箕面市(危機管理)

ここでは主な質疑応答のみの報告とします。(質問)

この防災計画に対しての議会の関わりはどのようになっているのか。

(回答)

地域の一員として、またリーダーとして地域を取り纏める役割を担っている。災害対策本部に議員専用回線を完備しているが、市当局では議員個別の要望に対応しない決まりを設けている。

赤穂市(行政評価システム、議員提案制度)

行政評価については、内部評価や外部評価を用いてあらゆる角度からチェックを行っている。一方、職員提案については、昭和37年からの取り組みであるが、古い記録については残っておらず、ここ最近の事例からの説明であった。

西宮市(被災者支援システム)

西宮市情報センターは、現在3名の態勢で日本全国の自治体の疑義や研修等に対応している。今後はインフラ・土木系整備ではなく、人命第一のインフラ整備が必要となってくる。その意味でもこのシステムを活用してはどう

総務費

- ・市政60周年記念式典開催事業…194万2千円
- ・市民ロビー授乳室設置工事 ……90万円
- ・伊万里ミュージアム調査研究事業…34万8千円
本市における博物館の必要性や、在り方、事業方法等について関係各課によるチームを設置。
- ・防災行政無線施設整備事業…764万3千円
市民の生命、財産を災害から守るため、迅速かつ一斉に災害情報を伝達する防災行政無線を整備するもの。26年度…基本設計。27年度…実施設計。28～31年度…整備工事。

(意見)

基本設計にあたっては、技術の進歩も見据え、当該システムを核としながらも、地域性・利便性等への配慮と他システムとの連携を検討し、積極的に活用されることに留意されたい。

であろうか。現在このシステムを導入している自治体は予定も含めて840団体と拮がりを見せている。本市に当該システムを導入するよう要望したい。また、この視察の内容については、議員全員が共有できるよう委員も努力が必要になると感じている。



センターの視察状況

尼崎市(ファシリティマネジメント)

このFMについては、我々の伊万里市も取り組んでおる状況の中、早期の伊万里市流FMの確立が期待される。

神戸市:人と防災未来センター

*施設視察

- ◎樋渡 雅純 ○梶山 太
- 内山 泰宏 馬場 繁 多久島 繁
- 前田 久年 笠原 義久 盛 泰子

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、教育委員会

当委員会に付託されました26年度一般会計補正予算、特別会計補正予算2件について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。主な内容は下記のとおりです。

予算議案

民生費

- ・敬老会開催事業 ……………640万2千円
- ・老人団体支援事業 ……………264万2千円
- ・私立保育園整備促進事業 ……1,069万2千円
- ・一時預かり促進事業……………100万円
- ・延長保育促進事業 ……………4,500万円
- ・私立保育園保育士等处遇改善促進事業
……………2,913万7千円
- ・病後児保育事業 ……………3万9千円

衛生費

- ・妊娠・出産講演会開催事業 ……85万円
- ・がん患者かつら購入支援事業…82万5千円
- ・健康長寿推進事業……………56万6千円

教育費

- ・「進」魅力ある学校づくり事業 ……87万円
- ・外国語教育充実プラン推進事業 ……10万円
- ・小・中学校パソコン管理事業 ……4,822万円
- ・小学校教育課程研究事業……………36万1千円
- ・小学校建設事業 ……………4,813万1千円
- ・中学校放課後等補充学習事業…92万8千円
- ・自治区活動促進事業……………120万円
- ・自治公民館新改築支援事業……………229万円
立花町渚区、立花町富士町区、大川内町小石原区、大川町山口区の改築に係る費用の一部を補助する。
- ・公民館改修事業 ……………1,012万5千円
財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し大川内公民館をバリアフリー化する。
- ・森永太一郎展開催事業 ……………177万1千円
- ・ハーフマラソン大会開催事業……………100万円
市制60周年記念事業として、平成27年1月11日(日)に日本陸上競技連盟公認のハーフマラソン大会を開催する。
- ・市民体育祭開催事業……………49万6千円
開催予定日：平成26年10月19日
- ・体育施設管理運営事業……………2,300万円
牧島地区にある県営住宅跡地を購入し、運動広場として活用する。
- ・散弾銃射撃場環境調査事業……………1,274万円
伊万里市散弾銃射撃場及び旧散弾銃射撃場における鉛対策の基礎となる土壌調査を行う。

現地調査

病後児保育室「すこやか」

平成26年4月1日に移転設置された、伊万里市病後児保育室「すこやか」に行って来ました。職員は室長1人、保育士2名、看護師1名の4名体制。伊万里市内に居住する1歳から小学校3年生までの児童で、病気回復期にあり、集団保育が困難な児童を受け入れ可能である。利用時間は月曜日から金曜日8時～17時30分。児童1人あたり1時間に付き200円で行っている。



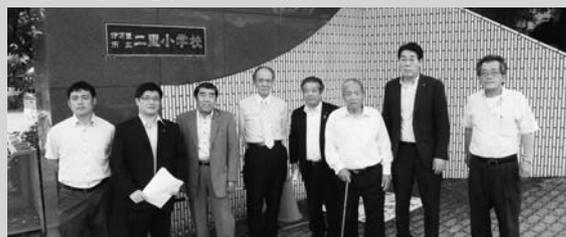
二里小学校

二里小学校の改築現場を視察。進捗状況は60%で予定通り進められている。今後の予定として、平成26年8月22日北棟完了。8月23～24日引越し(生徒：プレハブから北棟へ)。平成27年2月中旬南棟(管理棟)完成で3月1日より共用開始予定。

改築現場視察の後、電子黒板を使った授業を視察。今議会の補正により電子黒板が50インチのサイズのものを導入されようとしていたが、30人から40人生徒の教室では小さく見にくいので、議会の委員会報告の中で導入する電子黒板は、もっと現場の意見を反映するよう意見として出しました。

視察の後、説明意見交換の場では佐賀県教育委員会より森伸一郎氏にお越し頂き、県が進めようとしているICT教育について説明頂き、伊万里市の財政状況を考慮して頂き、さらなる助成を要望致しました。

また、岸田俊朗校長先生より現場の声として、校務用パソコンの内、XPパソコンの更新の必要性をお話されましたので、議会の委員会報告の中で市に意見させて頂きました。



◎草野 讓 ○山口 恭寿
東 真生 副島 明 松永 孝三
松尾 雅宏 渡邊 英洋 福田 喜一

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託されました条例議案1件、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算2件についての審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

主な内容は以下のとおりです。

「伊万里市報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例制定について」

農業関係で、農地中間管理事業推進員に対し、報酬が支給されるものです。

「平成26年度一般会計補正予算（当委員会の所管する事項）」

衛生費

・浄化槽設置促進事業 ……767万2千円

労働費

・勤労者福祉団体支援事業 ……53万円

農林水産業費

- ・中山間地域農業集落活動支援事業 ……1億8,370万9千円
- ・新規就農給付金支給事業 ……2,512万5千円
- ・水田農業機械・施設等整備支援事業 ……787万8千円
- ・有害鳥獣対策事業 ……863万5千円
- ・園芸農業機械・施設等整備支援事業 ……2,957万3千円
- ・農地・水保全管理支援事業 ……2,902万2千円
- ・ため池整備促進事業 ……570万円
- ・林道整備促進事業 ……317万6千円
- ・高性能林業機械導入支援事業 ……1,766万2千円



伊万里木材市場にて

商工費

- ・伊万里・有田焼伝統的工芸品産業振興事業のうち有田焼創業400年事業実行委員会運営負担金、伝統的工芸品月間国民会議全国大会負担金 ……245万円
- ・工場等設置奨励事業 ……8,687万5千円
- ・観光PR事業、伊万里ブランドフェア開催事業、伊万里ブランド販売促進事業 ……262万8千円
- ・観光振興団体支援事業のうちテレビCM放映、募集型企画旅行誘致補助 ……412万円

土木費

- ・道路管理事業 ……4,600万円
- ・市道改良事業 ……2,908万2千円
- ・煤屋川改修事業、煤屋川改修関連市道改良事業 ……1,722万9千円
- ・都市計画道路整備事業、都市計画道路整備促進事業 ……5,510万円
- ・市営住宅改修事業 ……4,442万1千円

〔予算審査における主な意見及び質疑〕

- ・団体観光客の受入れ体制について、食事場所や駐車場の確保に努められたい。
- ・農業振興策としての6次産業化の取組みについて。

「平成26年度特別会計補正予算」

〔公共下水道事業〕

下水道未整備地区汚水管理設工事費に7,190万円増額されました。

〔農業集落排水事業〕

井手野地区汚水処理施設の老朽化に伴い、機能保全計画概要書作成委託料400万円増額されました。



- ◎高木 久彦 ○井手 勲
- 松尾 博幸 香月 孝夫 前田 和人
- 井手 清敏 占野 秀男 田中 啓三

議会運営委員会

議会運営委員会報告

平成26年度 議会運営委員会行政視察報告書

◎5月27日(火) 14:00～16:00

【三重県松阪市議会】

(1)議会改革について

平成21年1月に市長が変わり、議員の月額報酬5%減を提案、議会は報酬審議会答申に修正提案するとして、市長との緊張関係となったことにより、議会改革に取り組んできた。

平成22年2月、各会派の議員9名、会派に所属しない議員の代表1名計10名で議会改革検討委員会を設置。全議員から松阪市議会における問題点・改善項目等127項目の提出を受け、議会基本条例の制定を勘案して、「できるものからやる」「議会基本条例を作る中で確認する」「その後検討をする」に分類作業等のため平成23年3月まで17回の委員会を開催。平成23年3月、議会基本条例制定を目的に議員全員(30人)による議会改革特別委員会、及び作業部会(10人)を設置。委員会17回、作業部会61回を開催。平成24年10月「松阪市議会基本条例」を賛成多数で可決。

(2)議員定数の検討について

平成25年2月15日に議会改革特別委員会で議員定数について論議を行い、多様な意見の中で、委員会の採決の結果、現状維持12人、増1人、減16人となり、議員定数を削減することを確認した。平成25年2月議会で改正案(2名減)を提出し全会一致で可決した。

◎5月28日(水) 9:30～11:30

【三重県鳥羽市議会】

(1)議会改革について

鳥羽市議会では、市民に開かれた議会に向け議会改革を図るため、平成21年7月より議会基本条例策定委員会及び同幹事会において議論して、平成22年第4回定例会にて「鳥羽市議会基本条例」を可決制定した。また、平成21年度からは議会改革の取組みとして、議会報告会並びに意見交換会及び平成22年度からアンケート調査を実施している。

(2)ICT化の推進について

全国初の議会ツイッターを導入し、議会のすべての会議をインターネット中継などの議会ICTの先進的な取り組みがされています。また、全協で行う正副議長選の所信表明や質疑も公開している。議場での一般質問等にモニターを利用してPC画像などを表示して説明するなど、インターネット放送することによって視聴者により分かりやすい情報発信を行っている。また、議員は議場にパソコンやタブレット端末を持ち込み使用することができ、議会HPにグーグルカレンダーを採用して、議会の会議、行事日程を公開している。

◎5月29日(木) 9:30～11:30

【愛知県豊田市議会】

(1)議員定数について

豊田市の議員定数は、法定議員数を適用し、昭和54年から、人口増とともに法定議員数も増えたものの議員定数は40人としていた。

平成17年に周辺6町村と合併した際、合併特例により議員数を47人に定め平成19年の選挙まで47人で、平成23年の選挙において法定数の46人にした。その際に、確認事項として、今後の議員定数の考え方について「適正な議員定数については、今後も地方自治法の改正やその時々々の社会情勢を十分勘案して判断すべきである。今後の改選時には特別委員会を設置して定数の見直しをする必要がある。」と申し送りがなされている。

平成23年度から「地域市議会報告会」及び講師を招いて議員研修会を兼ねて「市民シンポジウム」を開催し、この活動の見直しを含めて、平成25年の議会活性化推進委員会(11人の議員で構成)にて、「本市の適正な議員定数」、「市民の議会活動への参画の確保を調査研究」をテーマに掲げ取組み、その検討資料として「議員定数等の整理に係る調査」を業者に委託した。(委託料100万円)

議員定数の決定について、調査研究等を基に、本特別委員会で活発な意見交換を行ったが、定数に違いがあり合意に至らず、最終的には正副委員長から「1名減」の調停案が提示され、この案を委員の大勢が占め今回の選挙から議員定数を45人に決定した。

【視察研修を終えて】

議会改革及び議員定数について、松阪市議会、鳥羽市議会及び豊田市議会を行政視察したが、各市議会ともに課題を抱えながら市民の付託に応える市議会のあり方を目指し、議会改革の推進を図るとともに適正な議員定数について取り組んでいることが伺われた。また、具体的な事項について数多くの質疑応答ができたことは大いに意義があった。

伊万里市議会でも議会改革に取り組んでいるところであるが、このような先進事例を参考にしてその進度を上げる必要がある。

特に、本市議会にとって喫緊の課題として取り組んでいる議員定数については、今回視察した各市議会の取組み内容等を十分に検証し、本市の実情に適した議員定数を決定する必要があると感じた。

◎松永 孝三 ○馬場 繁
井手 清敏 梶山 太 笠原 義久
占野 秀男 田中 啓三 盛 泰子

総合計画審査特別委員会

伊万里市議会では、政策的な内容としては初の議員提案である「伊万里市政に係る基本的な計画の策定等の手続に関する条例」を2009年5月に制定し、市の総合計画の基本計画を議決の対象としています。これは、自治体の運営の根幹となる計画に議会が積極的に関わる事によって、責任を共有する目的がありますが、県内ではまだ数少ない取り組みの一つです。

審査の概要

2009年に策定された第5次伊万里市総合計画は、前期計画期間を終え、時代の潮流の変化や、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故の教訓などの新たな課題を踏まえて、後期基本計画案が作成されています。

委員会では企画政策課から40の施策ごとに内容説明を受け、質疑は各担当課が受けるという方法で進め、活発な議論がなされました。その後、論点を絞って委員間討議を行い、3ヵ所について修正して可決すべきものとするに全会一致で決定しました。

修正内容

【1】第1章「安心で健やかな暮らしづくり」施策4「子育て支援の充実」に記されている内容で、認可外保育施設における健康診断を児童だけではなく職員にも行うことを明記するための加筆修正。

【2】第3章「活気あふれる産業づくり」施策15「農業の振興」の中の表現が「TPPへの参加」を前提としていると受け取られるため修正。

【3】第4章「安全で快適な地域づくり」施策27「居住空間の整備」に記されている内容および文章に交錯があるので、これを整理するもの。

なお、施策ごとに参考資料として記されている「成果を測る目標」の数値について、表現の工夫が必要ではないかとの意見がありました。

この後期基本計画は、公民館や市民図書館などに常置する他、概要を「広報いまり」や市のホームページでお知らせします。更に財政見直しも含めた3年ごとの実施計画を作成し、毎年ローリングの上、作り変えられる予定です。

市民の皆さんからの多様なニーズに対して、最小の経費で最大の効果が上がるように事業の取り組みがなされますので、議会としても市民福祉の向上のために注視し、提言をしていきます。

◎盛 泰子 ○香月 孝夫
井手 清敏 副島 明 井手 勲
馬場 繁 山口 恭寿 松尾 雅宏
樋渡 雅純



一 般 質 問 (質問順)

一般質問事項

議員名	質問事項	議員名	質問事項
多久島 繁 (一問一答)	1. A E Dの戦略的配置について	前田 久年 (一問一答)	1. 市道中山井野尾線、市道重橋中山線の道路整備について
香月 孝夫 (一問一答)	1. 地域防災行政無線の整備について (1)地域防災行政無線とは (2)事業完了までの流れ (3)予算計画と市民負担 (4)城山公園にある放送設備の現状と課題 2. 市制60周年を踏まえた「おもてなし」について (part2) (1)伊万里市観光DVDの利活用 (2)本市への観光受入れ体制の整備状況 (3)観光協会の現状と課題	松永 孝三 (一問一答)	1. 塚部市長(4期目)の市政運営について 2. 教育行政について
樋渡 雅純 (一問一答)	1. 福祉緊急通報システムの運用について (1)運営主体変更の経緯 (2)提供サービスの充実 2. 教育行政について (1)木造建物(学校施設)の耐震化 (2)通学路の安全確保 (3)小中一貫教育 (4)デイジー教科書の活用	渡邊 英洋 (一問一答)	1. 伊万里地区高校再編計画について (1)市内中学校(8校)の高校進学状況について (2)高校再編計画について (3)市の取り組みについて
占野 秀男 (総括)	1. 都市計画道路の計画変更について (1)都市計画道路の考え方 (2)道路形態とバイパス計画 (3)渋滞対策と緊急避難道路 (4)国道204号改修と湾岸道路の一体的改修 (5)市民の声をどう反映するのか 2. 原発防災対策について (1)防災無線について (2)緊急避難道路整備について (3)1・2号機の廃炉を求める気はないか (4)市民団体の質問と回答について 3. 高齢化社会の助け合い支え合い対策について	笠原 義久 (一問一答)	1. 自治区の整理統合問題について 2. 都市公園の維持管理の現況について (1)城山公園の位置づけ 3. コンパクトシティ構想について
前田 和人 (一問一答)	1. 伊万里市制60周年記念の年 (1)伊万里市政として、何を意義とし、何を行うか (2)記念事業のあり方について 2. 総合計画後期基本計画について (1)後期基本計画を実行するための実施計画 (2)後期基本計画実施後、5年後の絵姿は (3)実現のための財源見通しは	盛 泰子 (一問一答)	1. 危機管理について (1)防災行政無線の整備 (2)緊急速報メール (3)原発事故時の避難先 (4)安定ヨウ素剤の配布方法 (5)平時の備え 2. 子どもを取りまく環境の充実に向けて (1)特別支援教育支援員の状況 (2)大規模な留守家庭児童クラブの今後 3. 政策決定過程の透明化について (1)再任用職員の任用先を例として (2)市民意見聴取プロセス制度
副島 明 (一問一答)	1. 防災訓練について (1)想定される緊急避難時の行政の責務 (2)住民参加の目的 (3)住民の自助と共助の意識啓発 2. 防災行政無線の整備について (1)伊万里市災害情報伝達システム研究会の提言 (2)基本設計に向けての伊万里市の方針と要求 3. 総合的な学習時間の現状について (1)伊万里市教育委員会の指導と助言 (2)伊万里市教育委員会の方針	馬場 繁 (一問一答)	1. 森林の整備及び活用について (1)森林整備の取組状況 (2)生産森林組合の現状 (3)腰岳健康の森の管理 (4)生活環境保全林の活用
		山口 恭寿 (一問一答)	1. 伊万里市原子力災害避難計画について (1)避難計画の概要 (2)避難場所の決定過程について 2. 教育現場の整備について (1)不登校の現状と対策について (2)特別支援児童生徒サポート事業について (3)ICT教育について (4)市内小中学校のパソコン配置状況について



一般質問

AEDで助かる命

多久島 繁

質問 各町公民館、小中学校等の公共施設にAEDが設置されているが、土・日・祭日や午後5時以降、館内に入

居ない時に事故が発生した時の対処はどうするのか。

答弁 市民部長

緊急事態なので「玄関の窓ガラスを破って使用しても良い」これに対応している。

屋内設置から屋外設置へ

質問 一般市民の方は、公共施設の窓や玄関のガラスを割って進入することを躊躇されると思うので、屋内に設置するのではなく、国

見中学校のように屋外に設置するべきではないか。

答弁 市民部長

AEDは精密機械なので温度・水・埃に弱く、また盗難や悪戯の可能性があり、AED屋外設置は困難と考える。

運動施設に早期設置を

質問 伊万里湾大橋球場・東山代球場などメインとなる運動公園はもとより、市内の多くに点在する運動公園は救急車の到着に時間を要するので設置が急がれる。

答弁 市民部長

未整備の理由は、管理するものが居ないことと精密機械であることから、消防本部にある貸出用一台で対応している。町内の各種イベントには公民館等にあるもので対応している。

AEDの戦略的配置

質問 「健康長寿日本一」を掲げておられる市長として、AEDの計画的な配置、いわゆる戦略的な配置についてどう思われるか。

答弁 市長

AEDの設置拡充については、新たなAED設置における基準を設け検討し、また貸出分を充足(増設できないか検討したい)と思う。AED II 自動対外式除細動器

地域防災行政無線の整備について

香月 孝夫

質問 ①地域防災行政無線とは②予算計画と市民負担

③城山公園にある放送設備

答弁 ①②総務部長

③理事

①本市独自に使用可能な情報伝達システム。市役所から発信の情報は、市内全域に設置した「スピーカータ」から放送。併せて、駐在員宅等には屋内の「個別受信機」を配備し、災害情報などを迅速かつ一斉に市民へのお知らせが可能となる。②予算8億円程度(7億3千万円は緊急防災事業債等を活用し、実質的な負担は16年間で約3億円程度。今年度より核燃料税交付金を充当。)直接的な市民への負担はない。③消防システム改修により操作不能となり平成25年10月より停止状態。防災行政無線との併用等、防災担当

と協議する。

市制60周年を踏まえた「おもてなし」について(part2)

質問 ①伊万里市観光DVDの活用②本市への観光受入れ体制③観光協会の現状と課題④今後の観光施策等の考え方。

答弁 ①②③産業部長

④市長

①「ネット上での配信」や、市外の「観光や企業の関係機関へ配布」。市内では「関係各所への配布」や「無料貸出」。利活用の仕掛け作りを積極的に展開。②大川内山藩窯公園においては、展望台周りの杉の伐採や、経年劣化の案内表示板等張替えを行う。大川内平尾付近に観光広告イメージ看板の新設置。③「伊万里市観光DVD」の映像を流すモニターの設置検討。④顧客満足度の向上を目指した施策の展開を行いたい。また、観光振興に関わる関係者の意見交換会の場を設置。

福祉緊急通報システムの運用

樋渡 雅純

質問 本市では1991年よりこの事業が開始され、高齢者の生活支援対策として運用されてきた。課題について指摘してきたが、今回その運用主体が変わった。①警備会社への変更理由。②警備会社の持つ基本サービス「駆けつける」、「相談できる」、「緊急情報の登録」は含まれるのか。③委託側の24時間体制は十分取れるのか。

答弁 市民部長

①通報体制の中で、消防署の関わりがあったが有田伊万里の統合をきっかけにその見直しが図られ、運営の公募の結果、警備会社にて含まれる。更にペンダント型緊急ボタンもつける。③近隣の支店とも連携しながら対応してもらおう。

学校木造施設の耐震化

一般質問

質問 全国的には、非木造の耐震化は27年度には92%。本市でも90%の見込みで進んでいる。木造施設においては全国で86%で本市では手が付けられていない状況。

答弁 ①現状は②耐震診断の判断基準はないのか③今後の対応は。

質問 ①小中に5校計9棟。②確かなマニュアルもなく、専門の設計事務所や、判定員も少なかった。③生徒数の動向もふまえ調査する。

小中一貫教育

質問 ①県内の一貫校における9年間のくくり方の現状は。②校舎一体型の時は本来の「4・3・2」制が考えられるのか。③校舎の整備については、更に精査が必要との市長答弁があったが今後の方針は。

答弁 **教育長** ①一体型7校で「4・3・2」は6校。隣接型6校は同じく2校。②考えられる。③県内の学校を視察し、精度を高める。

都市計画道路の変更は見直しが必要、他

占野 秀男

質問 都市計画道路（国道204号バイパス）の変更が予定されているが、東北大震災や福島原発事故の教訓から、命を守る緊急避難道路として確保すべき、また黒川町の朝夕の混雑対策上もバイパス計画は必要。海側ルートは国道として整備すべきで道路の在り方を混乱させてはならない。従って計画変更はすべきでない。市長の考えを問いたい。

答弁 **市長** ご意見はごもつともであり同感の部分もあるが、事業は県営事業として行われるため県に申し伝えたい。

質問 原発事故の場合の市民避難計画が佐賀県から発表されたが今の計画では実態が伴っていない。避難の仕方や時間の想定、避難道路混雑対策、避難者の受け

入れ態勢など佐賀県や関係自治体の連絡が不十分。机上の空論の計画を市民が安心できる避難計画に充実することが急務と思うが市長の考えは。

答弁 **市長** 佐賀県の避難計画の想定は甘い部分もあり、佐賀県とも協議して計画の充実を図りたい。

質問 今よりさらに進む高齢化社会に対応したサービスの在り方を検討し、行政に頼る面と地域の人でできることを協議すべきと思うが、幸い「栄町」では市OBの方が住民の協力で火災報知機や緊急ブザー、救急医療情報キット、買い物お手伝いなどなど、行っている。各地区でもできることはあると思うが市も取り組んだらどうか。

答弁 **市長** まちづくり大賞や県の優秀賞を受けるなど進んだ取り組みと思う。市内の地域でもできることから実施すれば高齢者も安心できるし市としても検討したい。

伊万里市制60周年について

前田 和人

質問 人間では還暦の年。伊万里市制60周年記念の今年、歴史を振り返り、将来への方向づけを明確に示す絶好の機会であるが、60周年の意義を、どう捉えているか。

答弁 **総務部長** 大きな区切りではなく5年毎の節目として、23件の記念事業と冠事業を計画している。

質問 記念事業も趣旨に則って実施していただきたい。60周年の意味を市長はどのように考えているか。

答弁 **市長** 節目の年と同時に4期目のスタートの年にふさわしいインパクトのある事業を実施していきたい。

質問 後期基本計画の実現には、市民の力の結集が必要。市民に期待される役割をどう周知していくか。

答弁 **政策経営部長** 計画策定段階で市民意見を反映しているが、市民に期待される役割も、HPへの掲載、計画冊子の配布、事業実施時に十分な説明を行い周知に努めたい。

質問 後期基本計画の5年後、どんな姿を標榜するか。

答弁 **市長** 浦ノ崎地区の産業用地化と産業の発展、西九州道の延伸を背景にした観光の発展と賑わいをイメージして進みたい。

質問 後期基本計画実現には、知恵・創意工夫と同時に財源も必要である。財源見直しは。

答弁 **政策経営部長** 中長期財政を見直し、将来的な歳入歳出が均衡した予算編成を目指していく。また財政基盤安定化計画に基づき、効率的な行財政運営を心がけ、政策的事業財源、一般財源の確保に取り組みたい。工夫として、国県の財源情報を素早くキャッチし、事業実現につなげる努力も図りたい。

後期基本計画の実現には、市民の力の結集が必要。市民に期待される役割をどう周知していくか。

一般質問

防災訓練について

副島 明

質問 想定される緊急避難時の行政の責務はどのようなものか。

答弁 総務部長

状況を的確に把握して市民に情報を伝え、避難指示を出すこと。避難所を設置して物資を供給することなどです。

質問 市民が防災訓練に参加する目的はなにか。

答弁 総務部長

行政の取り組みを知ってもらい、体験をすることにより確認してもらうことと避難訓練をとおして安全に避難することへの自覚を確認してもらうことです。

質問 安全に避難することは自分たちの責任であるという自助と共助の啓発が重要、だと思ふが。

答弁 総務部長

市としても啓発に努める。

防災行政無線の整備について

質問 今議会に基本設計の予算が提案されているが市として利用の想定、機能、などの詳細はまだ示されていないがプロポーザル方式を基本設計の委託前に採用する考えはないか。

答弁 総務部長

そのような方法もあると思う。

小中学校の総合学習について

質問 伊万里市教育委員会としての方針として子供たちに学び、体験してもらいたいことを示すことはできないか。

答弁 教育長

現在、それぞれの学校で取り組んでいるがその考え方もできると思う。

答弁 市長

伊万里のことを学ぶことは大切なことなので教育委員会に伝える。

市道中山井野尾線市道重橋中山線の道路整備について

前田 久年

質問 市道中山井野尾線については近年においては、交通量が増加しており一日の通過車両は1400台にも上っており歩道の未整備区間があり学生が通学する際など危険な状況であるため歩道整備ができないか。

答弁 建設部長

現在二里町において、交通安全施設整備事業として改修しており、その後検討していきたいと考えている。

質問 市道重橋中山線については、現在重橋工区が整備中だが、道路予算の影響か、なかなか整備は進捗していない。今後の整備計画は。

答弁 市長

今後は、各町（地区）のまちづくり運営協議会の皆様方のご意見等を十分に踏まえた上で、必要な見直しを行い、引き続き地域の元気推進事業を推進していきたいと考えている。

答弁 建設部長

整備進捗が伸び悩んでいるが、当路線のインターチェンジへのアクセス性や避難道路など防災施設として位置づけを明確にして財源確保に努めたい。

答弁 市長

両路線とも市内交通網において重要な路線だけではなく、避難道路という位置づけにもなり得る道路なので、国の交付金などにより財源確保を図り道路整備に取り組みたいと考えている。

地域の元気推進事業について

質問 今後の事業のあり方については検証し、見直すべきところは見直して事業を進めるべきではないか。

答弁 市長

今後は、各町（地区）のまちづくり運営協議会の皆様方のご意見等を十分に踏まえた上で、必要な見直しを行い、引き続き地域の元気推進事業を推進していきたいと考えている。

塚部市長4期目の市政運営について

松永 孝三

質問 九州電力玄海原発の安全協定を今後どのようにして進めていくのか。

答弁 市長

九電が「事前説明」を含む唐津市並みの協定内容を提示しているが、「事前了解」を含む立地自治体並みの内容を求めている、さらに交渉を粘り強く求めていき、九電にも意識を変えてもらうようにお願いしていく。

質問 原子力防災対策を講じるための財源は。

答弁 市長

本市もUPZ圏内に指定されたのだから、国や九電が整備する必要があると考えている、玄海町、唐津市と同様の交付金をして頂くよう求める。

UPZⅡ緊急時防護措置準備区域の略で原子力施設からおおむね半径30kmの範囲の区域。

一般質問

質問 博物館・美術館建設の取組について。

答弁 市長

博物館・美術館の必要性や事業の手法を検討し、市民の意見などを聞いて検討する。

質問 浦ノ崎地区の開発と新たな企業誘致について。

答弁 市長

浦ノ崎地区の今後の利活用については、あらゆる業種の企業の誘致していきたい。

USJが九州、沖縄の方で新たに建設予定しているとの新聞の記事を見て、浦ノ崎地区にも期待している。これから先も企業誘致の取り組んで参りたいと考えていきます。
(教育行政については割愛します。)



伊万里地区高校再編計画について

渡邊 英洋

質問 昨年11月に、佐賀県教育委員会が発表した「新たな生徒減少期に対応した県立高等学校再編整備実施計画(たたき台)」について

①伊万里の高校教育を考えると、大変重要と考える。塚部市政の重要な政策として取り組むべきではないか。
②高校再編については、伊万里高校、伊万里商業高校、伊万里農林高校の三校が統合すれば多様な学科の選択ができ、部活動においても選択の幅が広がり、より活発な部活動が出来ると思われる。まずは今の校舎を維持したままで三校統合を提案したいが、市長はどの様に考えるか。
③県教育委員会は新実施計画の策定を今年10月頃と予定しているが、今後、市としてどの様に対応して行くのか。

答弁 市長

①まずは県教育委員会の責任と主体性が重要であり地元説明会で出された意見等を参考にありべき姿を公表するべきである。その後、関係者の意見等を聞きながら市として対応して行きたい。

②県教育委員会には伊西地区に伊万里高校は「進学校」として残すという考えがある。考え方としては三校統合は良いと考える。「三校統合」と言えば県教育委員会は喜ぶと思うがもともと地元関係者の意見を聞き煮つめて行く必要がある。
③更に関係者会議を開催し議論を重ねてどう言う合意形成できるか汗をかいて行きたい。

自治区の整理統合問題について

笠原 義久

質問 市内自治区の統合問題が住民の間で浮上しているが。

答弁 財務部長

関係区長と何度となく話し合いを行った。行政としては積極的に資料の提供等を含め協力して行く。

質問 いくつかの問題点も残っているが。

答弁 総務部長

総論賛成でも部分的な問題があるが解決出来ると思う。

都市公園の管理状況と城山公園の位置づけについて

質問 全体の管理状況と予算についてはどの様になっているのか。

答弁 建設部長

総額三千五百万、その内三分の二を国見台公園、夢みさき公園に残りで36ヶ所の公園を維持管理している。

質問 市内で最重要な城山公園の管理が非常に不備だが。

答弁 建設部長

市が管理責任を持つて40年を経過し、暗いイメージで市民が遠のいた。借地先の円通寺との問題も残している。

質問 市の城山公園に対する認識不足に加え、管理予算の増額と大幅改修が必要だが。

答弁 建設部長

所有者の同意が必要で大規模改修の今後の予定はない。

コンパクトシティ構想についての考え

質問 中心市街地再成の救済策であるこの構想をどの様に受け止めているか。

答弁 建設部長

全国的に検討されている中で市も理解をしている。総合計画に方向性を盛り込み長期的に対応していく。

一般質問

子どもたちを
取り巻く環境

盛 泰子

質問 ①配慮が必要な児童生徒のための教育・特別支援員の数が圧倒的に不足しているので増員を。②大規模な留守家庭児童クラブのうち、立花クラブは新たな施設が必要ではないか。

答弁 教育長

①対象者は120人ほど。早い時期での対応のため小学校に傾斜配分したが、数校から要望が上がっている。最低20人は必要と考える。

答弁 市長

県内市長会から県へ支援を要請しているが対策を講じていきたい

答弁 教育部長

②今年度、入級希望者が大幅に増え、一部は空調のない普通教室で対応。今年の夏休みは学校図書館などで対応するが、新たな施設の検討が必要と考える。

危機管理

質問

①整備予定の防災行政無線では、大雨時や夜間などは聞こえない場合も多い。FM告知など新たな手法が整備されている中で、どのように考えるか。個別受信機を区長宅に配置する計画だが区長会とは意見交換したのか。②万一の原発事故時のために安定ヨウ素剤を備蓄しているが、配布がスムーズにいくように平時に出来る作業をしておくべき。③原発事故時の伊万里市民の避難先3市2町の担当者を訪ねたが、どこも「他人事」の雰囲気。避難先の自治体も被災していた場合はどうなるのか。

答弁

①③**総務部長**
②**市長**

①基本設計で検証して、その後、区長会に相談する。防災無線だけで完全だとは考えていないがこれを核とする。②必要だと考えるので検討したい。③県の防災計画で次なる避難先が示されている。

森林の整備及び
活用について

馬場 繁

質問 ①「森林環境保全直接支援事業」に市の関わり。及び本事業開設の森林作業道に維持費の支援はできないか。②木材価格の低下が続き厳しい経営になっている生産森林組合に市の支援策はないのか。③本市の森林は活用期を迎えるが、今後の森林整備の取組み。及び「腰岳健康の森」や「生活環境保全林」は、環境が悪化している。特に「腰岳健康の森」は大川内山と結びつけ、都市圏の人を呼び込む施設としてオートキャンプ場を含め再整備はできないか。

質問

答弁 市長

①「森林環境保全直接支援事業」に市の関わり。及び本事業開設の森林作業道に維持費の支援はできないか。②木材価格の低下が続き厳しい経営になっている生産森林組合に市の支援策はないのか。③本市には木材を使う西日本最大の木材コンビナートが立地しており、今後国の事業等を活用して県の林業行政と林業関係者が一体となって森林の利活用に頑張っていきたい。

答弁 市長

③本市には木材を使う西日本最大の木材コンビナートが立地しており、今後国の事業等を活用して県の林業行政と林業関係者が一体となって森林の利活用に頑張っていきたい。

答弁

①**産業部長**

①本事業の補助率は国と県を合わせて58%であるが、市が8・5%補助すると県が17%の上乗せをするため全体で93・5%になる。作

伊万里市原子力
災害避難計画に
ついて

山口 恭寿

質問 住民避難の受け入れ先に指定された自治体関係者が認識していない現状がある。伊万里市としてどのように対応していくのか。

答弁 総務部長

県内全市町村の防災担当者会議が6月17日に開かれ、今後は周知徹底されると考える。

質問

市民の皆様が避難受け入れ先に下見へ行く場合、市の防災危機管理課が間に入り、避難先自治体へ連絡した方がスムーズに行くと考えられる。そこで現地の下見へいく場合は市の防災管理課に連絡して頂くよう告知すべきと考えるが。

答弁 総務部長

市内区長さん達に文章で通知して行く。

教育現場の整備について

質問 市内小中学校の不登校生徒数の推移は。

答弁 教育部長 不登校生徒数は増加している。全国平均から見ても伊万里市は多い状況である。

質問 不登校対策のためのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー(SSW)が足りないのでは。

答弁 教育長 不登校対策を再度検討し未然防止に努めていくと同時に、SSWの増員が可能か検討して行きたい。

質問 平成26年Windows XPのサポートが終了し、市内小中学校の先生のパソコンがネットに繋がらないという不具合が生じているが。

答弁 教育長 予定では平成27年度中までに更新する予定だが、教育委員会と協議し調整を行って、この問題の解決を前倒しで行っていく。

特別委員会の設置

交通網・港湾・企業誘致
対策調査特別委員会

設置目的

交通網、港湾及び企業誘致に関する以下の調査、研究を行う。

- ①西九州自動車道、幹線道路の整備促進について
- ②港湾整備について
- ③企業誘致について
- ④経済活性化について

- ◎委員長 福田 喜一
- 副委員長 前田 和人
- 委員 香月 孝夫
- 井手 勲
- 山口 恭寿
- 松尾 雅宏
- 渡邊 英洋

防災・環境施設対策調査
特別委員会

設置目的

防災及び環境施設に関する以下の調査、研究を行う。

- ①台風等の自然災害対策について
- ②原子力発電所の安全対策について
- ③一般廃棄物処理施設の整備について

- ◎委員長 前田 久年
- 副委員長 東 真生
- 委員 副島 明
- 多久島 繁
- 草野 讓
- 樋渡 雅純
- 高木 久彦

編集後記

暑い日が続いておりませんが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、今回の議会だよりは6月議会の内容を載せており、通常であれば7月15日に発行するところですが、今回は6月30日に閉会となりました。8月1日に発行することになり、新たに編集委員の編成があり、任期中はこのメンバーで勤めさせて頂きます。皆様に分かりやすくお伝えして行く事を心がけて、紙面編集を行っていきたくと思っております。なお不明な点やお気づきの点、または苦情などご遠慮なく受け付け、または苦議会だよりに取り入れて行きたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。(山)



編集委員

- ◎占野 秀男
- 前田 和人
- 顧問 松尾 博幸
- 委員 井手 勲
- 山口 恭寿
- 東 真生
- 馬場 繁
- 松永 孝三

発行

伊万里市議会

印刷

山口印刷株式会社

伊万里市立花町一三五五一
0955-23-2594
0955-22-1257
E-mail: gikai@city.inari.jp